

○ 本校の概要

開校68周年目、児童数782名、24学級。地域からは落ち着いた学校として一定の評価を得ている。
★ 正規教員30名中、新規採用2名、教員全体の平均年齢は37.5歳で、20代30代の経験の浅い教員が6割超を占めている。校内において教師としての基礎・基本の徹底及び教師としての資質・能力の育成を図っており、成果が徐々に出てきている。
★ 「健康・安全・人権」を学校教育の基盤とし、「挨拶・運動・笑顔・思いやり」を児童の育成を図っている。
★ 本年度の校内研究は、「体育が大好きな児童の育成～課題解決の3つの視点から～」をテーマとし、体育科における主体的・対話的な学びの実践を通じた児童の育成を図っていく。
★ 多様な人間関係を築く機会と場を確保するために、毎年、全学年学級編成替えを実施し、「リーダー・メンバー」のペアタイムを基に児童が新しい自分の可能性を追求し、自尊感情を高め、主体的に活動できる取組をする。
★ 委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動などの異学年交流を促進し、特に高学年の自己の存在意義や役割を意識化できる機会と場を増やすことに取り組んでいる。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 10 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, これまでの取組今後の改善策, 学校関係者記入欄 (評価人数, コメント). Rows include: 未来社会を創造的に生きる子供の育成, 児童・生徒一人ひとりの学業意欲を高め、確かな学力を定着させます, 子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めること、自他の生命を尊重する心を育成するなど、未来への希望に満ちた豊かな心をはぐくみます, スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします, 児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境をつくり出す, 学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作ります。

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A：自己評価は適切である B：自己評価はおおむね適切である C：自己評価は適切ではない D：評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す